

第6学年 国語科学習指導案

日 時 平成22年9月10日(金) 5校時
児童数 男4名 女2名 計6名
場 所 6年教室
指導者 鈴木 薫

1 単元名

筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

2 教材名

「平和のとりでを築く」 大牟田 稔
「自分の考えを発信しよう/インターネットと学習」

3 単元について

(1) 児童観

学習においては、何事に対してもひたむきに取り組む子どもたちである。活動や理解における個人差が大きく、一人一人に合わせた手立てが必要な子どもたちでもある。

これまでの国語の学習では、まず、文章をすらすら読めるまで繰り返し音読に取り組みさせてきた。次に、言葉の意味がわからなくても自分から進んで調べることが少ないため、積極的に意味調べに取り組みせ、語彙数を増やせるようにしてきた。

説明文の学習では、学習に入る前から音読や漢字練習、全文視写に取り組みさせてきた。また、大切な文にサイドラインを引かせ、その文やその文の中の重要語句などをもとに、課題についてまとめる活動に取り組んできている。しかし、自分の考えをまとめるのに精一杯で友達の考えから自分の考えを深めることや段落相互の関係をととらえるまでには至っていないことが多々あった。

目的をもって音読に取り組みせ、視写した文などをもとに重要語句を導きながらまとめさせる活動を繰り返し指導している段階である。

(2) 教材観

第5学年及び第6学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる」ことである。本単元では、指導する事項として「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること」を重点的に取り扱う。また、「書くこと」の目標は、「目的に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考え文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる」ことである。本単元では、指導する事項として「イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること」を重点的に取り扱う。

本単元は「筆者の訴えたいことを読み取り、それについて自分の考えをもつ」ことを目標としている。

「平和のとりでを築く」は、原爆によって傷だらけとなった「物産陳列館」が多くの平和を願う心によって、世界遺産「原爆ドーム」となった経緯を述べた文章である。日本人として知っておきたい史実と、世界遺産となった意味について筆者の考えを読み取ることにより、多くの人々が「平和」を希求することがわかり、さらには自分自身が「平和」について考えることに適した教材となっている。

「自分の考えを発信しよう/インターネットと学習」は、「平和のとりでを築く」の学習をもとにして「戦争」や「平和」に関して多くの情報を集め、自分なりの考えを持ち、発信する活動を展開していくため、目的や意図に応じて事柄を整理して効果的に書く学習に適した教材となっている。

(3) 指導観

第1次では、まず、自分自身が「平和」についてどう考えているかを書かせる。そして「平和のとりでを築く」の学習をもとに「平和」について考えていくこと、さらには「戦争」や「平和」に関して多くの情報を集め、その中で自分の考えを書きまとめて川舟小学校の6年生と交流することを伝えていく。また、本単元の学習と並行して「戦争」や「平和」に関連する本をそろえ、できるだけ読み進めさせていく。

第2次では「原爆ドーム」が世界遺産に決定するまでの過程について、段落の中心文をもとにまとめさせていく。重要語句や文末表現に着目させ、どんな事実をふまえて筆者の意見が述べられているかについても正確に読み取らせていく。子どもたちにとって理解しにくい史実に関しては教師が必要に応じて資料を提示していきたい。また、読み取ったことや筆者の考えなどについて毎時間感想も書かせていく。

第3次では、第2次の学習と感想、関連する図書などの情報をもとに、段落構成を意識させながら「戦争」や「平和」について400～800字程度の意見文を書かせるようにする。意見文は川舟小学校の6年生と交流させ、それぞれの考えを広げ、深めさせる場としていきたい。

(4) 研究仮説に関わって

研究仮説手立て①考えを深め、まとめに活かすための「書く活動」の工夫にかかわっては、重要語句・文が分かるように板書し、それらを入れながら課題についてまとめさせていく。また第2次では、第3次で意見文を書かせるため、読み取ったことや筆者の考えなどについて毎時間感想を書かせていく。

本時は、原爆ドーム保存における賛成・反対両方の立場に立たせ、そのわけについて書かせていく。また、それぞれの立場の考え方を交流し、そこから自分が感じたことを感想として書かせていく。

研究仮説手立て②最終ゴールをイメージした単元計画の工夫にかかわっては、第1次に、「平和のとりでを築く」の学習をもとにして意見文を書き、川舟小学校の6年生と交流するという目的をもたせる。また、本単元の学習と並行して「戦争」や「平和」に関する本をできるだけ読み進めさせていく。そして第2次の学習と感想、関連する図書などの情報をもとに、第3次では「戦争」や「平和」についての意見文を書かせていく。

4 単元目標

【関心・意欲・態度】

- ・「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったり、書いたりしようとする。

【書くこと】

- ・自分の考えを効果的に表現するために、文章全体の組み立てを工夫して書くことができる。

【読むこと】

- ・書かれている内容について事実と感想、意見を区別し、自分の考えを明確にしながらかよむことができる。

【言語事項】

- ・文章のおおまかな構成を理解することができる。

5 指導計画と評価規準（全14時間）

	時	学習活動	評価規準	
第 一 次	1	・単元名に着目させ、「平和」について自分の考えを書く。 ・「平和のとりでを築く」での学習を通して意見文を書き、川舟小の6年生と交流することを理解する。 ・並行読書を始める。	・単元名に着目し、「平和」について自分の考えを書こうとしている。 【関・意・態】 ・新出漢字や読みかえ漢字を正しく読み、難語句などを辞書で調べる。 【言語事項】	
	2	・文章を4つのまとまりに分け、文章構成の大体をつかむ。	・内容のまとまりごとに分け、文章構成の大体を理解している。 【言語事項】	
第 二 次	3	・原爆ドームがたどってきた歴史を読み取る。 ・原爆ドームがたどってきた歴史について感想を書く。	・具体的事実や時間の流れを押さえ、表にまとめている。 【読むこと】	
	4 本時	・原爆ドームに対する人々の思いについて考える。 ・原爆ドームに対する人々の思いについて感想を書く。	・具体的事実を押さえながら、原爆ドームに対する人々の思いについて考えている。 【読むこと】	
	5	・原爆ドームが世界遺産に決定するまでの筆者の思いを読み取る。 ・筆者の思いや読み取ったことについて感想を書く。	・具体的事例と筆者の思いを読み取っている。 【読むこと】	・文末表現に着目し、事実と筆者の考えを区別している。 【言語事項】
	6	・筆者の伝えたいことを読み取る。 ・筆者の主張について感想を書く。	・文末や叙述の変化から筆者の主張を読み取っている。 【読むこと】	
	7	・題名に込められた筆者の思いを読み取り、それに対して自分の考えをもつ。 ・題名に込められた筆者の思いについて感想を書く。	・題名に込められた筆者の思いを読み取り、それに対する自分の考えをもっている。 【読むこと】	
第 三 次	8	・「戦争」や「平和」についての考えを発信するための計画を立てる。	・戦争や平和についての考えを発信するための計画を立てようとする。 【関・意・態】	
	9 ・ 10	・自分の考えを要旨としてまとめ、それに説得力をもたせるための情報を集め、書きまとめる。	・説得力をもたせるための材料を書きまとめている。 【書くこと】	
	11	・自分の考えが伝わるように文章構成を見直す。	・自分の考えが伝わる文章構成を選択している。 【書くこと】 ・目的に応じた文章構成を理解している。 【言語事項】	
	12 ・ 13	・自分の考えを書きまとめた文章を推敲する。	・具体的事例と自分の考えなどを分けて書いている。 【書くこと】 ・語句の正しい表記や文末表現について見直している。 【言語事項】	
	14	・自分の考えについて書きまとめたものを川舟小学校の6年生と交流する。	・自分の考えと比べながら、友達の良いところを見付けようとしている。 【関・意・態】	

6 本時の指導

(1) ねらい

- ・原爆ドームに対する人々の思いについて考えることができる。

(2) 具体の評価規準

【読むこと】

- A：原爆ドーム保存賛成と反対の人々の思いについて本文と自分の考えなどを合わせながら、そのわけについてまとめている。
- B：原爆ドーム保存賛成と反対の人々の思いについて本文をもとにそのわけをまとめている。
- Cへの支援：⑥段落の保存反対論か⑦段落の一少女の日記をもとにして、どちらか一方の思いを自分の言葉でまとめさせる。

(3) 展開

段階	学 習 活 動	◇留意点・支援 ◆評価
つかむ・見通す 7分	1 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">原爆ドームに対する人々の思いについて考えよう。</div> 2 本時の学習段落を確認し、学習範囲を音読する。 3 戦後の広島では、原爆ドーム保存に対する2つの考え方（議論）があったことを確認する。	◇前時の学習を振り返りながら、課題を把握させる。 ◇人々の思い（意見）などに気を付けながら⑥～⑧段落を読ませる。 ◇⑥段落で「保存する」か「取りこわしてしまう」という2つの考え方があったことを確認する。
深める 25分	4 「取りこわしてしまう」という意見が表れている文にサイドラインを引く。 5 それでも原爆ドームが保存へと固まったきっかけについてサイドラインを引く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">6 原爆ドーム保存における賛成・反対の両方の立場に立たせ、そのわけについて書かせる。</div> 7 賛成か反対どちらかの立場で発表させる。	◇「～という意見も」の「も」に注目させ、他にも考え方があったことを確認する。 ◇前時の学習をもとにして、原爆ドーム保存に対して10年以上も議論が続いたことを確認する。 ◇「私は原爆ドームの保存に〇〇です。わけは～」という書き出しで書かせる。 ◇書き終えた子には、どちらの立場で自分の考えを発表するか決めさせる。 ◆原爆ドーム保存賛成と反対についてそのわけをまとめることができたか。
まとめる 13分	8 市民の意見が「原爆ドーム保存」へ固まったことを確認する。 9 本時の学習を振り返り、感想を書く。	◇一少女の日記がきっかけとなり、市民も役所も「原爆ドーム永久保存」に立ち上がったことを確認する。 ◇原爆ドーム保存における賛成・反対の両方の立場について考えたことや友だちの発表から感じたことなどについて感想を書かせる。

平和のとりでを築く

大牟田 稔

課題

原爆ドーム保存に対する人々の思いについて考えよう。

反対 (原爆ドームを取りこわしてしまう)

「原爆ドームを見ていると原爆がもたらしたむごたらしい
ありさまを思い出すので、一刻も早く取りこわしてほしい」

- ・ 原爆がもたらしたむごたらしいありさまを思い出すから
- ・ 取りこわした方が忘れられると思っから
- ・ 見るたびに亡くした家族のことなどを思い出し、つらく
なると思っから

賛成 (原爆ドームを保存する)

一少女の日記

「あの産業奨励館だけが、おそるべき原爆のことを後世に
うったえかけてくれるだろう」

- ・ 原爆ドームだけが、おそるべき原爆のことを後世にうっえか
けてくれるから
- ・ なくなると、また原爆が使われると思っから
- ・ 残ること、いつまでも平和になれると思っから

一少女の日記に後おしされて、市民も役所も「原爆ドーム永久
保存」に立ち上がった。